

令和８年度 第３回安城市教育委員会定例会会議録

日 時 令和８年６月１０日（水）午後１時３０分

場 所 教育センター２階 会議室

出席した委員 石川良一 教育長
加藤滋伸 教育長職務代理者
久恒美香 委 員
深津敦司 委 員
松林亜紗子 委 員

出席した職員 長谷部朋也 教育部長
澤田一樹 生涯学習部長
神谷昌信 総務課長
足立雅之 学校教育課長
廣村郁夫 生涯学習課長
松元淳一 スポーツ課長
朝岡一秀 文化振興課長
杉本慎吾 総務課庶務係長

傍 聴 者 なし
開 会 午後１時３０分

日 程

第 １ 前回会議録の承認

令和８年５月２８日開催の教育委員会定例会会議録

第 ２ 教育長等の報告

<教育長>

６月 ２ 日 火 情報連絡会
４ 日 木 安城七夕親善大使表敬訪問
安城市議会定例会開会
５ 日 金 安城市議会定例会一般質問
８ 日 月 安城市議会定例会一般質問

9 日 火 第3回定例校長会
10 日 水 現職教育訪問（桜林小）
教育委員会定例会

以上に出席しました。

第 3 議題

第11号議案 安城市奨学生審査委員会委員の委嘱について

説明：総務課長

内容：安城市奨学金支給条例施行規則第4条の規定に基づき、必要があるため、意見を求める。

（全員異議なし承認）

第 4 承認事項

承認第1号 安城市教育センター企画運営委員会委員の解嘱及び委嘱について

説明：学校教育課長

内容：安城市教育センター管理運営規則第6条に基づき、必要があるため、承認を求める。

（全員異議なし承認）

承認第2号 安城市いじめ問題対策連絡協議会委員の解嘱及び委嘱について

説明：学校教育課長

内容：安城市いじめ問題対策連絡協議会条例第2条により、必要があるため、承認を求める。

（全員異議なし承認）

承認第3号 安城市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

説明：学校教育課長

内容：安城市附属機関の設置に関する条例第4条により、必要があるため、承認を求める。

（全員異議なし承認）

承認第4号 アジア競技大会に伴う体育施設開館日等の変更について

説明：スポーツ課長

内容：安城市体育施設の管理に関する規則第2条に基づき、必要があるため、承認を求める。

(全員異議なし承認)

承認第5号 安城市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について

説明：スポーツ課長

内容：安城市附属機関の設置に関する条例第4条に基づき、必要があるため、承認を求める。

(全員異議なし承認)

第 5 報告事項

報告第1号 令和7年度安城市教育センター事業報告について

報告第2号 令和8年度安城市教育センター運営計画について

報告第3号 第47回安城選手権大会夏季水泳競技会の開催について

報告第4号 令和8年度第1回安城市民ギャラリー運営委員会の開催結果について

報告第5号 令和8年度第1回安城市文化財保護委員会の開催結果について

久恒委員：事業報告書のふれあい学級の相談で、不登校が一番多く、不登校について悩む保護者の方がやはり1番多いととても感じました。昨年度と比べて増えてきているのか、減ってきているのか、そういうことは分かりますか。

学校教育課長：不登校は、令和4年度からここ3年間減ってきましたが、昨年度急激に増えています。はっきりとした要因は正直分かっていません。それまではS S Wを随時配置し、順調に減ってきたと捉えていたのですが、昨年度一気に膨れ上がったので、別の要因があるかと思っています。その要因の1つとしては、学校側が学校に来られない状態を体調不良ではなく、不登校でカウントし始めているというところです。ここについてはもう少し注視して見ていこうと思っています。

久恒委員：好転事例がいくつか書いてあり、つながりディレクターとかの方たちがメンタルケアを行ってくださって、学校にうまく通えるようになったり、勉強を続けることができる子が増えて来たり、とてもいいなと感じました。

加藤職務代理者：久恒委員の質問に関連して、その報告書22ページにふれあい相談件数が昨年度2,001件から2,200件に増加したと書いてあります。その要因として、相談枠を増やしたことからと書いてありますが、そうではない原因があるのではないかと感じなかったですか。

学校教育課長：もちろん相談枠を増やしたということもあります。ただ、昨年度一気に膨れ上がった理由については、先ほど申し上げたようなことが要因と私たちの中では捉えているのですが、はっきりとした理由が正直見当たらず、まだ分析できていないというのが実情です。

加藤職務代理者：増えたといっても前も多いので、その増減は毎年度増えたり減ったりはきつとするのだろうとは思いますが。いずれにしても臨床心理士、公認心理士の3人体制の曜日をさらに増やしていく必要があるという辺りをやはりこれからも継続してお願いをしていくということですね。細かないろんな対応をしていただいている成果が出てきていると思いますので、相談件数が増えていくということは悪いことではないと思いますので、ありがたいなと思っています。

それから研修のところで、教育センターで令和7年度と令和8年度の研修事業を見ていくと、令和8年度の報告書4ページに新しく加わった内容でコミュニティスクール対応の研修があります。コミュニティスクール若手教員研修、コミュニティスクール応用研修、基礎研修と3つの研修を今年度加えていただいたのは、いいことだなと思います。

今年度と昨年度で比べて違うのは、ICT活用です。事業内容はまったく同じ表現ですが、令和8年度はNEXTGIGA構想対応という言葉が出てきています。そのNEXTGIGA構想は今までと違う流れが出てきているのでしょうか。その点を教えてください。

学校教育課長：NEXTGIGA構想というのが、安城市が独特で進めてく中で、昨年度から名前を変えてきたという流れがあり、ここにも反映させています。

加藤職務代理者：研修の名前もそれに合わせて変え、内容については、それに応じて少し深く変えていこうということですね。毎年言っていますが、単独の市として、教育センターでこれだけの研修を行えているのは、愛知県の中でも数少ない市だと思います。また充実していただければと思いますので、よろしくをお願いします。

教育長：NEXTGIGAという言葉は、国もそういう言葉を使っています。当初は、GIGAスクール構想というのは「みんな配置をしましょう」、「タブレットを持たせましょう」、「使えるようにしましょう」ということが目的としていたものが、今度は使い方、そしてその中身に、今、時代が切り替わっています。そういう大きな質的な違いを示すために、そして、時代に合わせて変えたということです。今の日本の最先端の部分をつまえて安城市をどうしていくかを、県教育委員会でICTを立ち上げた指導主事と市教育委員会と一緒に考えて、今年度から動いていこうということになっています。

松林委員：教育相談事業の成果と課題で「最初の電話相談から初回のふれあい相談にかかるまで1か月半要する相談者もいた」とあります。この1か月半はもうノータッチなのですか。現状が変わるようなこともあるってことですか。

学校教育課長：予約が全然取れないので、そこを私たちは、なんとかもう少し周期を早くして子どもを見届けていきたいという思いではいるのですが、なかなか叶ってないのが現状です。

教育長：人気がありすぎてずっと待っていないと、相談の機会が来ない状況です。本当はその間にいろんな手が打てるのですが、それが出来ないのは少し良くないです。

久恒委員：「かがくのひろば」の応募者が減ってきているという内容がありました。「歴史のひろば」も皆さん最近取り組まれていると感じています。安城市歴史博物館で今回、石川丈山の企画展をやっていたときに、丈山苑とのタイアップをしていました。丈山文庫特別公開も見に行かしていただきました。すごく興味を持って見ている人たちもいたので、こういったつながるものをしていただくと、子どもたちも歴史というものを1つの点で見るだけでなく、こういう見方もあるのだなといろいろつながっていくととても感じました。安城市にあるそういう資源をうまく使って、科学だけでなく、歴史も含めてみんなが興味持てるような展示や見せ方をしていただくと今後もいいと感じました。

教育長：学びの材料は、気が付けばたくさんあるというのは、生で感じています。学校の学びとそれがつながっていくようにスポーツの分野も文化の分野も今動いています。そういう今まで開拓できてなかったところがずいぶん開けてきているので、こういう状態をもっと充実させていけば明るいと思っています。

学校教育課長：今日、見学に行った小学6年生の授業で古墳時代を取り扱っていました。教科書の日本全体の古墳のことを一通り行い、その後担任の先生が話題にしていたのは、安城市の古墳で、安城市の古墳から出てきたいろんな銅鏡や鉄剣の資料を渡していました。そして、なぜ安城市にこういう古墳ができたかということを授業していました。やはりそうやって少しずつ地域のものを取り入れながら広げていくことが、先ほど久恒委員が言われたように歴史の広場にもつながっていくし、いい取り組みだったと思います。

第 6 その他

総務課長：次回は7月16日(木)午後1時30分から教育センターで開催。

閉 会 午後2時4分